



## 庄原の歴史をつなぐ

失われゆく歴史発掘・8/5

庄原青年会議所（庄原 JC）が、青少年育成事業「失われゆく歴史発掘」を開催し、市内の小学生を中心に約30人が参加しました。

この事業は、庄原の近代産業で欠かすことのできない勝光山の「鉱業」について「庄原の歴史を知り、誇りに感じてほしい」との思いで企画されました。

勝光山は、川北町にある「ろう石」の一大産地で、国内シェア90%を占めており、本市の鉱業を支えてきました。

当日は、(株)勝光山鉱業所の協力の下、鉱山で採掘している「ろう石」について学びました。

「ろう石」は、その名前の通り、ろうのようなつやがあるのが特徴で、現在は、医薬品や建材、ガラス繊維などさまざまな用途に利用されています。

説明の後、参加者は採掘現場や工場を見学し、山の成り立ちや歴史、産業としての歩みを学びました。

また、実際に採掘されている「ろう石」を使い、地面に絵を描く体験も行いました。

参加した児童は「庄原市にこんなすごい場所があるのを初めて知りました」と笑顔で話しました。



▲採掘現場で説明を聞く参加者



▲絵描き体験をしている様子

## 芸備線に乗ってみよう

備後庄原駅舎の見学・8/25

No.4

「高放課後子供教室」の児童23人が備後庄原駅舎（庄原市交通交流施設）の見学を行いました。

児童は、芸備線高駅から列車を利用して備後庄原駅で下車し、次の駅へ出発する列車をホームから手を振って見送りました。

その後、改札を抜けて駅舎内に移動した児童は、市職員から新しくなった駅舎の紹介や、市が芸備線の利用促進のために実施している取り組みについて説明を聞きました。

参加した児童は、ホームや駅舎内を自由に見学し、設置されている顔出しパネルやカーブ人形の前で記念写真を撮るなど、思い思いに楽しんでいました。



▲駅舎内で芸備線について質問する児童

## 鮮やかな変化を楽しむ

比和の藍で生葉染め・8/22

No.3

比和自治振興センターで「ひわの藍（生葉）でシルクのストールを染めよう！」と題し、生葉染め体験が行われ、10人が参加しました。

この体験は、比和自治振興区の地域マネージャーが中心となり、地産地消や地域のつながりを促進することを目的に開催されました。

参加者は初めに、藍の葉をミキサーで細かくし、水を入れ、緑色の染め液を作りました。

その後、作った染め液にシルクを入れ染色を行い、広げて空気に触れさせると、あっという間に緑色から青色へと変化していきました。

参加者は、「色が変化していく瞬間はわくわくする」と嬉しそうに話しました。



▲茎から藍の葉を取っていく参加者

## 市政トピックス

自治定住課  
生涯学習課

## 幅広い世代が集いにぎわう施設を目指して

庄原市民会館・庄原自治振興センターの大規模改修工事に着手



完成イメージ図

広報しようばら6月号でお知らせしていた、庄原市民会館・庄原自治振興センターの大規模改修工事を、9月3日から開始しました。

この工事は、建築から40年以上が経過した当施設を改修し、安全性の確保や市民ニーズに対応するため実施します。

新しい施設は、誰もが気軽に利用できるリースペースや多目的ホールの新設に加え、大ホールの改修、利用者が使いやすいようスロープや多目的トイレの設置など、幅広い世代の人が集い、にぎわうことができるよう、工夫が施されています。

なお、工事期間中は庄原市民会館と庄原自治振興センターの事務所が、下記のとおり移転しています。

**▼工事概要**

令和5年3月31日まで

請負業者  
小林建設・大歳組 庄原市民会館・庄原自治振興センター

大規模改修工事共同企業体

請負金額  
19億1400万円

### 事務所移転先一覧

施設名	移転先	開所時間など	連絡先
庄原市民会館	田園文化センター2階 (西本町二丁目20番10号)	8時30分～17時15分 月～金曜日 (祝日、年末年始除く)	NPO法人庄原市芸術文化センター ☎0824-72-4242
庄原自治振興センター	新興第2ビル4階 (西本町二丁目18番8号)	8時30分～17時15分 月～金曜日 (祝日、年末年始除く)	庄原自治振興区 ☎0824-72-3777



## 秘境駅で地域の魅力を発信

内名駅PR動画の製作

No.1

田森自治振興区の定住促進活動の一つとして、芸備線内名駅のPR活動が行われています。内名駅は、近年秘境駅として全国に知られるようになった、田森地域唯一の駅です。その知名度を利用して、多くの人に地方で暮らす魅力を伝えるため、これまで実施された缶バッジ・スタンプシートの配布に続き、本年は内名駅のPR動画が製作されました。

動画は、芸備線を利用する高校生の映像を中心に製作されました。また、地元の人に大切な場所として楽しんでもらいつつ、内名駅を知らない人には興味を持ってもらえるように、周辺の景色も併せて紹介されました。

動画の視聴者からは、SNSを通して「懐かしい」「ぜひ訪れてみたい」「芸備線への関心が高まってほしい」などのコメントが寄せられました。

この動画は、田森自治振興区のYouTubeチャンネルやFacebookで公開されています。



▲PR動画の撮影風景



▲PR動画のワンシーン



▲芸備線内名駅に停車する車両